

車力中生徒と地域スポーツ団体がニチレクボールで交流

この日、つがる市型「地域学校協働活動」の一環で、車力中1年生21人と総合型地域スポーツクラブ「車力笑笑スポーツクラブ」会員12人が軽スポーツ「ニチレクボール」で交流を深めました。

この取り組みは、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の工藤秀美さんが、学校と地域の交流活動を進めようと企画。和気あいあいとした雰囲気の中、生徒とクラブ員は、チームに分かれて、それぞれ色が異なるボールを標的球をねらって投げ合い、得点を競いました。

ニチレクボールに挑戦した生徒たちは「ボールを投げる力の加減が難しい。的の近くにボールがいくとうれしい」などと感想を話しました。

工藤コーディネーターは「これをきっかけに、参加人数を増やしていき、地域と学校の距離をもっと近づけていきたい」と話しました。



3/18
車力中学校

標的球に狙いをさだめる参加者たち

航空自衛隊車力分屯基地に堀川司令が着任

3/25
市役所



倉光市長と握手を交わす堀川司令(右)

3月22日付で、航空自衛隊北部高射群第21高射隊長兼車力分屯基地司令に堀川康弘2等空佐が着任しました。

堀川司令は福岡県飯塚市出身。前任地は東京都・市ヶ谷の航空幕僚人事教育部人事教育計画課。車力分屯基地の第27代司令として隊員たちを指揮します。

この日、市役所を訪れた堀川司令は「隊員がいきいきと活動できるような環境づくりを心がける。市と連携しつついい関係を築いていきたい」と意気込みを話し、倉光市長は「引き続き、地域と良好な関係を続け市民の安心安全のために努めていただきたい」と激励しました。

離任した八島康喜2等空佐は、内閣官房へ赴任しました。

児童生徒一人一人の個性をサポート

この日、児童生徒の学習活動などをサポートする学校教育活動支援員（スクールサポーター）の辞令交付式が行われました。

市教育委員会では、特別な支援が必要な子どもに手を差しのべようと、令和6年度は31人のスクールサポーターが任用され、市内の全小中学校に配置されます。交付式で倉光市長は「皆さまが子どもたちの学習面、生活面をサポートしてくれるおかげで、つがる市の全ての子どもたちは夢に向かっていけると思っていますので、ご協力をお願いします」と激励しました。

穂波小に配属される岡本有加里さんは「子どもたちに寄り添ってサポートしていきたい」と抱負を話しました。



4/3
旧制木造中学校
講堂

倉光市長から辞令を受け取るスクールサポーター



後輩の手で披露された懸垂幕

尊富士関の優勝 たたえる懸垂幕

この日、大相撲春場所で、110年ぶりに新入幕での優勝を飾った尊富士関の優勝をたたえる懸垂幕が、母校木造中学校に掲示されました。

倉光市長は「歴史的偉業をみんなでたたえることができうれしい。」と話しました。

つがる旭富士ジュニアクラブ総監督の越後谷清彦さんは「相撲部の子たちの励みになると思う。皆に愛される、応援されるような関取になってほしい」と話しました。

木造中相撲部部長で3年生の中野匠毅さんは「新入幕から攻める相撲をしてとてもかっこよかった。同じ学校出身なので、自分ももっと頑張りたい」と話しました。

早朝パレードで火災予防を呼びかけ

4月8日から14日までの7日間、「守りたい 未来があるから 火の用心」を全国統一標語に、春の火災予防運動が実施されました。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たって、火災予防の思想普及、火災発生防止を目的に毎年行われ、本市では初日に消防団員などによる火災予防パレード出動式が行われました。

出動式では、倉光市長が「多忙な仕事の合間を縫っての火災予防活動ではありますが、引き続き積極的に取り組んでいただきたい」とあいさつ。続いて大淵則昭消防団長から訓示を受けた団員らは、一斉に消防車両に乗り込み、市内パトロールに出動しました。

春になり火災が増えています。火の取り扱いには十分注意しましょう。



出動式に臨む消防団員

交通事故のないつがる市を目指す



県警察音楽隊と踊る園児たち

この日、つがる市民交通事故防止総決起大会が松の館で行われ、約200人の市民らが、交通事故のない社会の実現を誓いました。

大会では、つがる地区交通安全協会の片山徳明会長が「関係機関との連携を強化し、住みよいまちづくりを実現できるようお力添えをいただきたい」とあいさつ。

地元の園児たちからは交通安全にちなんだ踊りが披露され、最後に元気よく「皆で交通ルールを守ります!」と誓いました。

アトラクションでは、県警察音楽隊による吹奏楽演奏やカラーガード隊の華麗な演技が大会を盛り上げました。